



合志マンガミュージアム
KO-SHI MANGA MUSEUM

マンガミュージアムが やってきたー！



1万5000冊のマンガが
読み放題

マンガ描き体験や自由研究
などワクワクするイベントが満載

戦前の見たこともない珍しい
マンガと出会える

落ち着ける縁側風の空間
「キューブ」

7月22日(土)、御代志の西合志図書館隣に合志マンガミュージアムが誕生します。どんな施設なのか、今回はその魅力を紹介します。

マンガの魅力を生かしたまちづくり

市では現在、「合志市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標のひとつである「稼げる地域産業をつくる」ためにアニメ・マンガを生かしたまちづくりを進めています。これまでの取り組みの事例として次のような事例があります。

- ・合併記念の市歌『合志市音頭』を初音ミクが歌い踊る動画の制作公開
- ・郷土歴史マンガ『カタルパの樹』合志義塾ものがたり『』の発刊
- ・合志市クリエイター育成塾の開設

この流れを受けて、市はNPO法人熊本マンガミュージアムプロジェクト(通称「クママン」)の代表、橋本博さんと協力することになりました。橋本さんが営んでいた「古書キララ文庫」が長年集めたマ

ンガ本約7万冊を收藏し、子どもから高齢者まで多くの人々が気軽に立ち寄ることができるようになりました。

**既存の施設を活用し
産学官連携で工夫を凝らす**

新しい建物を建てるのではなく、旧西合志郷土資料館を改修してミュージアムとして活用します。利用者がくつろぎながらマンガを読むことができるよう、産学官が連携してどうすれば居心地のよい空間になるかを協議。昨年からの数回にわたって試験的にイベントを開催し、マンガの種類や配置、来場者の年代や滞在時間、ご意見、会場内での動き方などを細かく研究し、より多くの世代が心地よく感じられる場所づくりに取り組んできました。

また、本年度から地域おこし協力隊員もプロジェクトに参加。畜産など地域の産業に関するマンガや食育に関するマンガを集めるなど、地域おこしの視点で考えたアイデアも取り入れています。

マンガで学ぶ・つながる

合志マンガミュージアムは、市とNPO法人クママン、地域おこし協力隊が共同でつくる「マンガで学ぶ、マンガでつながる」ことを目指した施設です。

近年、スマートフォンや電子コミックの普及でマンガの本を手にとって読む機会が減りつつありますが、館内には壁一面に1万5000冊のマンガが並び、自由に読むことができます。1960年代の古いマンガや戦時中の紙芝居など、貴重な資料から近年のマンガまで幅広くそろえ、子どもはもちろん親世代や祖母の世代も楽しめます。また、合志の歴史が学べる『カタルパの樹』合志義塾ものがたり『』など、熊本・合志の歴史に関連するマンガと、それらにまつわる企画展示や講座で郷土史学習を支援。歴史や文化だけでなく、哲学や各種職業など幅広いジャンルを楽しみながら学べます。

昔読んだ懐かしいマンガ、まだ観たことのないマンガなど、たくさんの方のマンガと出会い「読む」「観る」「学ぶ」を体験してみませんか。感動と学びの場所、合志マンガミュージアムにぜひお越しください。



1



3

①ゆっくり座って読める「キューブ」 ②「合志」の文字をイメージしたロゴマーク ③入口には無料でくつろげるフリーゾーンもあります

2